



東部支所の屋上に設置した太陽光発電システム（上）、建物の側面にはPR用の看板を掲げている（右）

当会の東部支所は、福山市を流れる芦田川の右岸側

屋上の約半分に太陽光発電パネルを設置

東部支所 業務で使用する電力量の1/4をカバー

これまで、設置に掛かる

費用が高額であったことや発電効率が悪く、技術的な問題がありました。現在では、技術開発も進み、大量生産によってコストも大幅に下がりました。一般の住宅では「三キロワットの太陽光発電システム」が設置されていますが、国や県、市町村などから補助もありますので、設置に当たっては利用されたらよいと思います。

当会では、国が行う広島県内の住宅用太陽光発電導入補助金申請の受付窓口を設置していますので、太陽光発電をお考えになっておられる方はご相談ください。

東部支所に設置した太陽光発電は産業用なので、今回は独立行政法人の新エネルギー産業技術総合開発機構（略称NEDO）と呼ばれています。からの補助を受けて導入しました。太陽光発電システムの導入で、投入資金の元が取れる

近年、官公庁に限らず一般の企業が環境にやさしい取り組みを積極的に行っていることはみなさんご存知のことと思います。当会東部支所においても、平成二十一年一月に「エコアクション21」以下の認証を取得することができました。EA21とは、環境省が策定した環境に配慮した取り組みを行う中小の事業者のための

認定登録制度です。今回は東部支所でも、どのような取り組みを行っているのか、今後どのような取り組みを実施していくのかについて紹介させていただきます。まず、自分たちの事業活動

を定め、「省エネルギー」「廃棄物の削減」「リサイクルおよび節水」に関して、具体的な取り組みを進めていきます。東部支所では、事業によるCO2の排出量のうちガソリン使用量が約五割、電気使用量を約四割を占めることが判明しました。そこで、これらの削減を第一目標に掲げ、今まで以上にアイドリングストップやゆづくりアクセルなどの「エコドライブ」の徹底、不要照明の徹底した消灯、省

り、平成二十年度の事業によるCO2排出量を前年度より一割近く削減することができました。日頃の取り組みも、数値で表すと効果も分かりやすく、自分たちの活動の励みにもなりました。

また、昨年夏に試みた緑のカーテンは、取り掛かる時期も遅かったために不調に終わりましたが、今年こそ是非西洋アサガオやササゲなどを使い、建物東側に完成させるべく計画を立てています。EA21をもとに実践した環境への取り組みは、日常の事業への負担も大変少ないように、目標がとも明確なのでスムーズに取り組んでいくことができました。

EA21としての活動は、スタートラインに立つたばかりですが、今後も職員全員で活動を継続して進めていきたいと考えています。（東部支所 香川典子）

環境協東部支所「エコアクション21」を認証取得

省電力器具への切り替えや室温管理を徹底

前年度よりCO2排出量を約一割削減

「脱温暖化センターひろしま」は、県内の地球温暖化防止活動推進員が交流を深めるとともに、今後の活動のあり方について探っていくと、2月25日に広島県立生涯学習センターで『脱温暖化推進員フォーラム』を開催し、推進員65人が参加した。

まず、手づくり教材を使った環境学習の取り組みや、町民の家庭のエネルギー使用量の調査など、8組の推進員による活動報告をもとに、今後の活動に役立つ情報やヒントを共有した。また、会場には推進員が作成した紙芝居などの教材や活動を紹介するパネルなどを展示し、それらを話題に推進員同士で意見交換を行った。

続いて、エネルギー使用状況やライフスタイルの調査結果から、その家庭に合った対策を助

言する「省エネ診断」の実践結果や、地域での実践事例を報告することで、地域ぐるみでの家庭のエネルギー削減の必要性を協議した。最後に、気候ネットワーク事務局長の田浦健朗氏より、脱温暖化に向けた国際的な動向や国内対策の現状と課題に関する最新情報を提供していただいた。

米国や欧州では、排出量取引制度の導入など、温暖化防止に向けた経済的くみが見が確立されているのに対し、日本はまだくみが不十分であり、そのため、『地球温暖化を防ぐ経済・社会をつくる政策を導入することが緊急の課題である』と指摘された。それに対し、推進員からたくさんの質問・意見が出され、温暖化問題に関する知識をより深く共有して、フォーラムは終了した。（脱温暖化センターひろしま）

脱温暖化活動のあり方探るフォーラム開催
省エネ診断など推進員が活動報告

活動報告を話題に推進員同士で意見交換を行った



「脱温暖化センターひろしま」は、県内の地球温暖化防止活動推進員が交流を深めるとともに、今後の活動のあり方について探っていくと、2月25日に広島県立生涯学習センターで『脱温暖化推進員フォーラム』を開催し、推進員65人が参加した。

まず、手づくり教材を使った環境学習の取り組みや、町民の家庭のエネルギー使用量の調査など、8組の推進員による活動報告をもとに、今後の活動に役立つ情報やヒントを共有した。また、会場には推進員が作成した紙芝居などの教材や活動を紹介するパネルなどを展示し、それらを話題に推進員同士で意見交換を行った。

続いて、エネルギー使用状況やライフスタイルの調査結果から、その家庭に合った対策を助

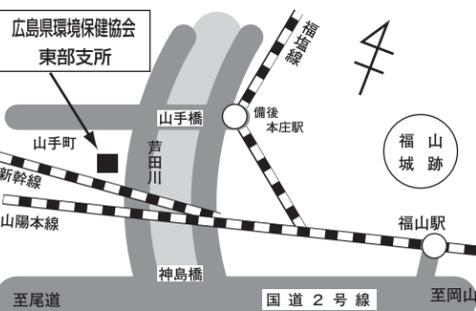
言する「省エネ診断」の実践結果や、地域での実践事例を報告することで、地域ぐるみでの家庭のエネルギー削減の必要性を協議した。最後に、気候ネットワーク事務局長の田浦健朗氏より、脱温暖化に向けた国際的な動向や国内対策の現状と課題に関する最新情報を提供していただいた。

米国や欧州では、排出量取引制度の導入など、温暖化防止に向けた経済的くみが見が確立されているのに対し、日本はまだくみが不十分であり、そのため、『地球温暖化を防ぐ経済・社会をつくる政策を導入することが緊急の課題である』と指摘された。それに対し、推進員からたくさんの質問・意見が出され、温暖化問題に関する知識をより深く共有して、フォーラムは終了した。（脱温暖化センターひろしま）

東部地区の検査受付は、支所でも行います！

食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など

【受付時間】月曜日から木曜日 8:30~17:30



財団法人 広島県環境保健協会

東部支所

〒720-0092 福山市山手町5-32-26

TEL 084-952-0007

FAX 084-952-0009